

大平洋服店ネーブル部



# 木村清治翁の銅像

廿七日に除幕式挙行

四倉町上仁井田の木村清治翁  
顯彰會（会長阿部泰順氏）で  
はかねて平市八幡小路彫刻家  
本多朝忠氏に依頼し木村清治  
翁の銅像を造つていたが、完  
成し最勝院内に建立したので  
二十七日午前十時から除幕式  
を挙ぐ。

当日は有志四百人を招待する  
銅像は等身大でステッキを持  
つた翁の姿から相貌もそっくり

三年元上仁井田木村玄策の二  
男に生る。

母はのぶ女實沢氏なり、幼に  
して志を医業に立て東都に遊  
学し具に研鑽を積み医師試験  
に合格、更に順天堂病院を始  
め諸大家に学ぶ。二十六年帰郷  
醫院を開き數々々として濟生  
の便命に精進すること十年、

時恰も憲法発布せられて未だ  
數年を出でず明治新政その緒

に就くといふも政情尚安定  
せず有爲の士の輩快を許さず  
三十六年遂に推されて郡會議  
員となり、今日地方政界財界  
の大長老たる翁の存在はこれ  
時に始まる。爾來県會議員史  
に榮張院議員として國議に參  
与し郷に在りては木浦村長と  
して昭和八年より二十一年に  
至る迄而も戦時の激務を執る  
この間も医業を続け病患あれ



# 石城財界人評判記

商売に新聞發行

農業機械の大御所新妻良平氏



原始的農業から機械化農業へ転換された時代を迎えて平市二丁目の常盤ヤマー製作所社長新妻良平氏（五三）はやく三十年間一貫して農機具を売って来た。県下に三十三

大阪の製品一本桶で売って来たのでこへ行っても新妻よりもヤマーさんと呼ばれるので自然ヤマーしに成り切ったのだそうだ。今日の基礎をためるのには相当の苦労

終戦後二丁目に移ったが二十五年に今の二丁目に移り、またる店舗を構え、七千農家のお得意を得て年間一億六千万円の売り上げを続け繁昌している。

ば必ず往いて之を問う。翁に在りて済生は済世にして二ならず故を以てて大正二年大浦信用組合を創立し三十四年の間組合長の職に在り、また東北凶作救済事業たる耕地整理を施行し地方産業振興の爲には自ら創立委員となり磐城セメント株式会社を誘致してその監督役の任に在ること三十年、その他福島繊維製品興業組合理事、全国工業組合連合会監事、全国十爾組合連合会監事等枚挙にいとまあらず、就中明治三十七年故山崎与三郎翁を頭取として平銀行を創立し監督役取締役を経て昭和三年財界バンクに際しては三任取締役として常陽銀行との合併を議して之を成立せしめ、この機会を脱し地方財界に大なる貢獻をなせり、この姿一身非念に基つくものたるずんば非

# 高校野球、春の陣容

昨年より期待さる

猛練習開始の四倉高校

奮たけなわとなり右城の野球界もようやく活発になって来た。このたび来たるべき大会にそなえて練習に励んでいる各高校の野球チームをめぐってみることにした。

四年高校

昨年は浜通りで最も成績が良くなかった四高は、今年度の三年生の卒業にはあまり穴があかない。一年生、二年生が主体だったからで予想されるメンバーは

---

(3) (中投) 投 (2) 捕 (左)  
妻林辺形尾 (右) 沢本川羽  
野 戸 谷  
新小山山西郷長坂長出  
1 2 3 4 5 6 7 8 9

となるように、抜けたレギュ

三十年前に原始農業から機械化の近代農業時代は必ず来るというので始めたこの商売の目にいささかの狂いもなかったわけだ。商売にかけてはなかなか先見の明があり早くからセールスマンを農村に送って売り込んで来たが、セールスマンの時代は過ぎたときこれはを廃止した。その理由はこれもセールスマンが多くなった時代においてはお客様はその応接に嫌気をさして来た。大都市などではウルサイので奥さん連中が玄關に旌銃でているのが多くなっているこれはセールスマン撃退戦法である。こうした現象は遠からず本県にも現われると云うのだ。ではこれにかわる戦法には何かよいかと沈思黙考の結果「いわきの機械化」と題する新聞の発行でP・Rする。これが第一だと昨年九から月刊で発行七千部を印刷お得意先に配って来た。三月で第七号を発行したがB5版形二色刷りのきれいなもので三月号は十六頁で非農家にも配るため九千部を印刷した。ローカル紙では郡下随一の発行部数なので広告申込みも一躍六軒出来、新妻社長大満悦の態だが、明るい編集ともともに特に氏の「みみずのたわごと」と題する軽妙洒落で奔放な記事は農村の人々の人気を得て新聞の来るのを待たれるようになり、第三種郵便物の認可も得た。これまで新聞に七十万円ほど投じたがセールスマンに要する費用と比較して安上りであり、それだけお得意氏に奉仕出来るといっている。また月賦時代にも彼は一矢報いてゐる。月賦販売の多くは定価より四割の高利をかけてゐる。その勘定を知らずにいるがやがてはその不利益をささるハズである。こうした負担をかけることは買う人に気の毒だ。現金売買こそ商業の正當な通だと説きそれを概むる実行信用を得ている。彼はクリスチャンであるだけに手堅い商道を守っている。ヒトとの肌ざわりもよく、話術にも長け教養も身につけてゐるし明朗で屈たない男である。

ラーは捕手橋本、サード猪狩、レフト志田の三人だけ。捕手橋本の穴がちよつと感じられる。全体として小柄だが昨年よりは期待がもてそう。投手は三人おり、瀬川がエースとして投げられるだけのコントロールがつけば五尺九寸の長季節。ひな祭、お彼岸など冬こもりからぬけて、同じ家事雑用をはぶくにも何となく解放感がわいてきます。各家雇恵い思いに、春分の日中心のわが家のプランを考えておきましょう。

身から投げおろすアウトロ  
に決まる。球速は他チームに  
比してひけるをこらない。パッ  
テングでもなかなかファイト  
があるので、穴のある内野陣  
の強化が成功するか、インサ  
イドベースボールをどだけけ  
身につけたかが見ものである  
練習方法としては下半身を  
強くするたためカウニングを  
多くして来たもの。

---

手作りの草モチ  
お彼岸のあいだにいちど草モ  
チを手作りしてみてはいかが  
？  
ヨモギの見える川の土手近く  
の山裾なら、ちよつこの手す  
さびであの香りと郷愁が味わ  
れます。上新粉をあかすとき  
きは三〇〜四〇分、十分時間  
をかけてふかす。

横田校長は  
態度保留

片寄投手

一夜漬の香

近郊ではもう水もぬるみ、水  
仕事がらくになりました。冬  
からずっと休ませた獺みをを

好間 一 小の火災  
責任者は退職  
石城郡好間村一 小の火災の責  
任を感じて退職願を出して  
いた小牧正臣、鈴木実教諭に  
対し県教委では十五日付で依  
願退職とした。横田滝蔵校長  
については態度を保留してい  
る。

さすが、こんなときはモクサ  
ン液（市販）普通の桶なら盆  
に一杯、一斗位の桶なら盆に  
二杯位を入れてよくかき混ぜ  
ておくと、香り、味を保存し  
かゝ腐敗も防止できます。一  
度おためしになってみてはい  
かが。

ネクタイ ワイシャツ  
化粧品 バンド  
平駅前大通 電5721

ランドセル 鞆 靴  
平市二丁目 電5722

帽子 学生帽  
平市三丁目大通電5723

百 合

## 平の代表的土産品

平の生んだ世界的作曲家八橋検校の  
作曲せる名曲「六段の曲」を記念する

中夜六段 録

六段本舗 平 凡 平 駅 前  
電 2 5 0 9

荒物雜貨

伊勢屋

平市四丁目電二〇四五

榎の口莊

電(平)四八四九

一泊素泊り一五〇と二〇〇円  
内郷市ヘルスセンター入口左側

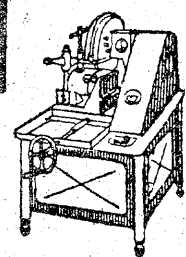
野木良平

**K S K の特殊機械！**

# コンクリート 試料切断機

コンクリート撻破機  
目地 剤 注入 機  
砂 鉄 砲  
シャワーノズル

 **協産工業株式会社**  
平市材木町10 TEL.2249



民主主義だつた二宮尊徳

思ふは廢田から生じた一儀が種となつて發展して來たのです。いわゆる「無から有を生ずる」といふことも彼はきまつたまゝと感じつたことでしよう。しかも金次郎はその間、自分で土地を耕やしてはかりたのではなく、所有田地を全部小作に出したりして、自分の力はそのを開墾にむけたり日雇になつたりして最大限に働かしてあり、優れた経営者の手腕のあるところを見せておられます。

だ。親を生んでくれたものはその親だ。そして人間の一番の親は天地だ」彼は人間の生きていく姿をじつと見つめ考へました。「家」といふものをも重んじたものといわゆる封建的と片づけてしまふ前に、彼のダーウソンの種の起源の考へ方にも似た物の本来のあり方、生々發展の姿のとらえ方をよく認めるべきでしょう。物事を断片的に見る弊害は現代に満ちあふれています。金次郎は自己を人間の生きてい

海及び長崎を荒らしたりして國內は永い間の鎖國の夢を破られて騒然となつて來ていて幕政はいよいよがたがたになつて來ています。彼はそういつたうものゝ眼をむけていたがどうかは判りません。しかし、とにかく百姓の一人としてなつてゐる限りの先進的な新しい生き方を先づと頑張つていかに進みやりません。

彼は勿論血の出るような努力を重ねて來たのですが、それだけでは、ない。封建制のひ



釣師の話

に暮すんだ、ということではなかつたやうです。二十四歳の十月には江戸見物をして、十一月には京、大阪、奈良、伊勢まわりに出かけました。伝説のように云われている。ここちの働いてはかりい人間ではなかつたのです、これまではあまりに生活が逼迫して何の余裕もなかつたのが、始めて二十何才になって

彼岸の声をきくと深塲にひる。なかにば違反行為である薬物を使って川全帯の魚を死滅させる不届者もいて釣師たちを憤慨させるものもいる。以下はこうした点について或る釣師が語つた話である。

第一話 A と B と C はまた素人の域を脱しない下手くそ連中だ、それが昨年の秋三人連だつて平から豊間に出て磯

和洋家具・漆器

御婚礼家具はどうぞ

株式会社

永木タンス店

平市三丁目 電四五三五  
工場 平競輪場前

# クツの王様

## レックス・フレックス

従来のクツよりぐつと  
軽く弾力性がありとて  
も快適です

素晴らしい人気

# 靴のスガタ

本店平市銀座街電4604  
支店平市二丁目電4059

伝導装置要品

ボールベアリング・ブーリ。ペルト

加藤商事

平市仲町七（公会堂前）  
電話 二五八七

# 九州一周二等觀光団体募集

九州は日本民族の古都であり外国との交流の多くの史跡や神代以来の伝説をも秘め古くは火の国と呼ばれた様に阿蘇霧島を頂く火山帯は豊な出で湯を湧かせ観光客を一層楽しませるものがあります。当力行会観光部にては係員が親切に御案内申し上げ家族的な観光です奮って御参加下さいます様お願い致します

|     |                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 期日  | 四月下旬出發(九泊十日)                                                                                                                                                                                                             |
| 人員  | 四五名                                                                                                                                                                                                                      |
| 會費  | 三一、二〇〇円(一切の費用です)                                                                                                                                                                                                         |
| ◎備考 | ◎御希望の方は金參千円也添えて御申込み下さい。<br>◎備考 出發當日の御昼食は各自御持参下さい。                                                                                                                                                                        |
| 行程  | (汽車・特急・急行・準急・バス・船併用)                                                                                                                                                                                                     |
| 第一日 | 平發六、一五(準急ときわ) 上野着九、四五<br>東京發一一、〇〇(急行高千穗) ▼車中泊り                                                                                                                                                                           |
| 第二日 | 別府着九、四四(急行高千穗)<br>別府地獄巡りと高崎山、野猿見學▼別府泊り                                                                                                                                                                                   |
| 第三日 | 別府發七、四四 宮崎着四、〇九<br>宮崎發一四、四〇(宮交バス) 鶴戸神宮着二五、五五<br>鶴戸神宮發一七、五一(バス) 青島着二八、三〇<br>▼青島泊り                                                                                                                                         |
| 第四日 | 青島發九、〇〇(バス) 一宮崎着九、四三(バス)<br>青島見學(七、〇〇) 八、〇〇 朝食前<br>宮崎市内見學 一宮崎神宮参拝<br>宮崎發一二、一一 霧島神宮着二四、二八<br>霧島神宮發一四、四〇(バス) 霧島温泉着二五、四〇<br>(バス) ▼霧島温泉泊り                                                                                    |
| 第五日 | 霧島温泉發八、五〇(参拝) 霧島神宮着九、二〇<br>神宮前發一〇、〇〇 霧島神宮發一〇、一〇<br>霧島神宮發一〇、四七 鹿兒島着二一、四八 桜島<br>(船) 鹿兒島市内見學 ▼鹿兒島泊り                                                                                                                         |
| 第六日 | 鹿兒島發八、五二(一一八レ) 一熊本發一五、一〇(一〇レ)<br>七本着一四、五二(一一八レ) 一熊本發一五、一〇(一〇レ)<br>七二七) 一の牧着二一、五四(七二七レ) ▼一の牧温<br>泉泊り                                                                                                                      |
| 第七日 | 一の牧温泉發七、〇〇(バス) 坊中着七、四〇(バス)<br>坊中發七、四〇 阿蘇山頂九、五〇(バス) 坊中<br>着二、二五(バス) 坊中發一、二二(準急火の山)<br>(熊本着二、三九(準急火の山) 熊本市内見學二時<br>間) 〇分熊本發一四、四二(一一汽) 三角着一六、<br>一八(五二汽) 三角發一五、三〇(船) 島原湊一五、<br>四五(船) 島原發一六、四五(バス) 雲仙温泉一<br>七、四五(バス) ▼雲仙温泉泊り |
| 第八日 | 雲仙發八、一五(バス) 長崎着一五、〇〇(バス) 長<br>崎市内見學 長崎發一、三五(肥前山口一〇) 肥前<br>山口一五、二三(乗換) 鳥栖着一六、五一 鳥栖發一六、<br>五五 二日市着一七、二二(一二四レ) ▼二日市<br>泊り                                                                                                   |
| 第九日 | 太宰府天満宮参拝福岡(博多) 市内見學博多發一八、<br>〇〇(特急くら) ▼車中泊り                                                                                                                                                                              |
| 第十日 | 東京着一二、一〇(特急さくら)<br>上野發一二、五〇(準急ときわ)<br>平着一五、五四(準急ときわ)                                                                                                                                                                     |

平市紺屋町一一

登録第三〇号 株式 会社 力行会観光部

登録第三〇号  
株式会社  
力行会観光部

TEL(平)552123